

「勝つために努力する」 大栄空手



組み手の練習もしっかりと

今のほくたちの目標は「東京都小学生選手権大会」の個人戦でベスト16以上に入ることです。

ほくたち大栄空手は、数々の大会で優勝や入賞をしている全国でも強豪の「正統唐手成徳会」の道場です。大栄空手のモットー「勝つために努力する」の言葉通り、練習は厳しく、皆が真剣に取り組んでいます。現在は中学生1人、6年生2人、5年生2人、4年生3人、3年生2人、2年生7人、1年生1人、園児6人の計23人で、毎週火・金曜日に大栄B&G海洋センター体育館の武道場で活動しています。

市民の ひろば

6
June



高柳 佑多 選手(小学3年生)
今度の大会で入賞できるよ
う、皆で一生懸命練習して
います

普段の練習は、「型」の基本動作は全員で、「組手」は上級者と初心者に分かれて行っています。特に「型」では、「立ち方」が大切で、足の位置について先生たちも念入りに指導してくださいます。

組み手の練習では、先生に「空手はスピードが一番大事。勝負は一瞬で決まる」とよく言われます。姿勢が崩れないように速く技を出すのは難しいですが、一生懸命練習をしてできるようになった技が決まって、試合で勝ったときは、とてもうれしいです。

練習は厳しいですが、普段は先生たちも優しく、休憩時間には一緒に遊んでもくれます。中学生から幼稚園児まで一緒に活動し、皆とても仲がよいのがほくたちの特徴です。これからは全員で目標に向かって頑張っていきたいです。



チェリーの会

パンの花に
魅せられて

わたしたちは、久住公民館で毎月1回活動している「チェリーの会」パン粘土を使つて花を作る。パンの花。サークルです。講師は小川幸子さんをお願いしています。現在、先生を含め、7人で活動しています。

チェリーの会のモットーは、とにかく楽しくやること。パンの花制作だけではなく、メンバーで旅行に行ったり、展示会に行ったりもしています。

パンの花の制作は、モデルを決めることが



皆で楽しく取り組んでいます



美しく咲いたパンの花

らスタート。各自が、図鑑、雑誌、実物などから好きな花、季節の花などを選びます。針金に緑色の紙を巻いた茎に、油絵の具などを混ぜたパン粘土を成形した花の芯、花弁、がく、葉などを付けていきます。深みを出すため、最後に色付けをして完成です。月に1回の活動ですが、丸々1日制作に取り組み、1作品に3カ月くらいかかります。慣れてくると、色、つや、形、どれをとっても粘土とは思えないくらい生き生きとした質感に仕上がりますよ。

作品は、花瓶に生けたり、リースにして壁に飾ったり、大切な人への贈り物にすることも。喜んだ顔を見ると、掛かった苦労も吹き飛んでしまいますよね。

わたしたちは、もちろん実物の花も大好きです。でも、好きな花を一から作り上げる一もの作りとしてのパンの花に魅せられています。



贈り物にパンの花はいかが

スクスクのびのび 356

このコーナーには市内在住で満5歳までのお子さんの写真を掲載しています。お気に入りの1枚が撮れましたら、ぜひお寄せください。

○応募方法

お子さんの写真に住所・氏名(ふりがな)・生年月日・親の名前・電話番号・30字程度のコメントを添えて広報課へ

○応募先

〒286-8585 花崎町760
成田市役所広報課

○問い合わせ

広報課 ☎20-1503

須田 莉穂子ちゃん(2歳)加良部
これから公園であそぶの♪はやく行こうよー!!



近藤 優斗くん(4歳)玉造
うわあ!このイチゴ、あまくてすっごくおいしい♪



宇都宮 葵ちゃん(4歳・上)中台
夕月 鈴香ちゃん(4歳・下)加良部
2人でブランコ乗ってあそんでるの。写真撮られてちょっと照れてま〜す(*^.*^*)